

2008 年度

科目名 国際協力論 B	対象学科・学年 人間人社 2 回生	担当者 岡島 克樹
授業テーマ 日本と途上国のつながりをよりよいものにするにはどうすればいいかを考える。		
授業の概要と目標 現在のグローバル化する世界構造のマイナス面を是正し、プラス面を拡大する動きとしての国際協力とは何かを考えるとともに、国際協力を行う国連機関や政府系機関、非政府機関（NGO）とその具体的な諸活動について学ぶ。		
評価方法 後期末レポートおよび授業への貢献（外部講師によるレクチャーへの参加）を総合的に判断する		
テキスト 適宜コピーして配布する。	著者	出版社
参考書 適宜指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 講義は、国際協力の機関や分野に関する基本的な文献の読解の他、海外青年協力隊の活動を紹介する外部講師やビデオ、NGO の活動を紹介する外部講師を招くなど、国際協力の現場をより想像しやすいようにしながら、展開する。 1. 国際協力の諸目的（その1）：「開発」概念の変遷—経済開発・社会開発・人間開発・「人間の安全保障」 2. 国際協力の諸目的（その2）：外交か？人道支援か？—「国益」とは何か？ 3. 国際協力のアクター（その1）：国際協力の様々なアクター 4. 国際協力のアクター（その2）：NGO 事例紹介その1（外部講師） 5. 国際協力のアクター（その3）：NGO 事例紹介その2（外部講師） 6. 国際協力のアクター（その4）：国連機関 7. 国際協力のアクター（その5）：日本政府系機関 8-9. 国際協力のアクター（その6）：JICA 大阪国際センター訪問（2 回分を 1 回として実施） 10. 国際協力の案件形成・評価方法（その1）：PCM（その1） 11. 国際協力の案件形成・評価方法（その2）：PCM（その2） 12. 国際協力の諸分野（その1）：エイズ 13. 国際協力の諸分野（その2）：女子教育 14. レポートの書き方指導 15. まとめ 本講では、予算の許す範囲において、大学の外にある人材を外部講師として学内に招き、国際協力の現場について語っていただくので、外部講師が話をされる回については必ず参加するようにしてください（出席点あり）。外部講師が来校される日程が決まり次第、講義の中で伝達する。 また、昨年度から、学外授業として、JICA 大阪国際センターを訪問している。受講生は必ず参加するようにしてください。		